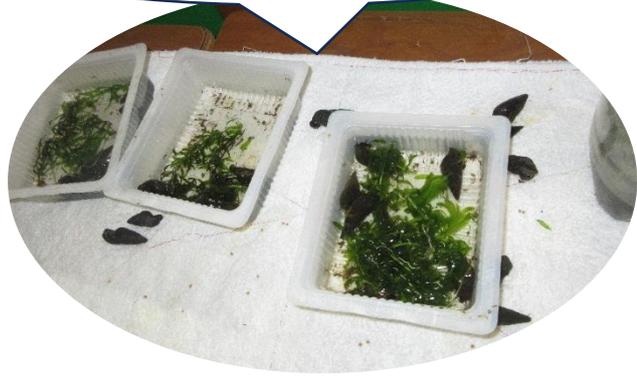


# おひるねのあと、じけんがおこりました!!

たにしがでてる!!



すいぶんがなくなってカラカラになってる!



午睡後、タニシを見てみると入れていた容器からタニシが飛び出していました!! タニシを触ると「水分がなくなってカラカラになってる!」「このままだと死んじゃう・・・」と子どもたちも大慌て!!

ふかいようきだとでてないよ!!



おにいちゃん  
なにやってんだろう?

すいそうにうつそう!



深い容器にタニシを入れていた子が「ぼくのは深い容器だったから出てないよ!」ということに気づき、「水槽にうつそう!」と水槽にうつすことになりました。

散歩先で見つけてきた貝殻。子どもたちの「これはなに?」「なんで?」から友だちが集まることでいろいろな気づきがありいろいろな発見があり、どんどん広がっていきました。途中、見守っているなかで「餌をあげすぎてるな」「あまり触ると弱っちゃう」「水遊びになってるな」などどこまで口を出し、どこまで介入したらよいのか悩みながらもなるべく子どもたちの姿を見守ることで、子どもたち自身が気づき、考え、行動する姿をみることができました。また、その姿を下の子もなにしてるんだろう?と興味をもって見る姿がみられました。この生き物の観察はまだまだ続き、「なんで赤ちゃんはペロペロキャンディーみたいにぐるぐるしているの?」と疑問を持ったり、「図鑑を作ったらいいんじゃない?」とこれからどう発展していくのか楽しみです!! 今後も子どもたちの好奇心や探求心の芽を摘まないよう見守っていけたらと思います。